

# 地域の力で安全なまちを!!

県内の犯罪件数は、平成15年をピークに徐々に減少していますが、いまだ10年前と比べ約2倍の犯罪が発生しています。愛西市でも、不審者による子どもへの声かけなど、特に子どもに対する環境が悪化しています。現在、愛知県では、「犯罪にあわない」「犯罪を起こさせない」「犯罪を見逃さない」の3N(ない)運動を展開しています。この中で、地域の自主防犯パトロールが犯罪減少に大きな成果を上げています。こうした流れを受け、市でも防犯活動を推進しています。また、市内では、たくさんの自主防犯ボランティア組織が立ち上がり、安全なまちの実現に向け、地域の防犯活動に積極的に協力をいただいています。

今回は、防犯の基礎知識と自主防犯ボランティア組織を紹介していきます。



## 地域ぐるみで安全なまちに

犯罪者は、人間関係が希薄な地域を好みます。近所同士のつながりがなく、不審者が紛れ込んでも認識されにくい地域が、犯罪者にとっては活動しやすい環境と言えます。犯罪者が嫌がるまちづくりで、被害を未然に防ぎましょう。

## 地域におけるパトロール活動

地域の皆さんが一体となって行うパトロール活動は、地域の目を育て犯罪を未然に防ぐ高い効果が期待できます。

### ○複数で行いましょう

危険防止にもなり、多くの目で見ることにより効果が高まります。

### ○地域の実情に応じた形で

徒歩や自転車でのパトロールは、被害者と同じ視点で見ることができ、危険な場所を知ることができます。夜間などは、自動車を使用したパトロールが効果的な場合があり、最近では青色回転灯を装着した自動車によるパトロールが増えています。

## ご近所同士の連携を高めよう!

犯罪者は声をかけられるのを嫌がります。声をかけるといっても、あらたまる必要はなく、挨拶だけで十分です。また、日頃からご近所同士で声をかけあうことにより、地域の連帯感が生まれます。

## 防犯パトロール

安全なまちづくりに有効な手段である防犯パトロールですが、「どんなことをするの?」という疑問があると思います。ここでは、その活動のポイントを紹介していきます。

### 防犯パトロールって どんなことをするの?\*

- 1 犯罪を未然に防止するための活動
- 2 地域住民への声かけや防犯指導
- 3 非行防止や子どもの被害防止を目的とした青少年への声かけ
- 4 犯罪や事故が発生しやすい危険な場所の点検や警察などへの通報
- 5 犯罪や事故などを発見した際の警察への通報

6 不審者(車)などを発見した際の警察への通報

7 幼児や小学生などの通学路のパトロール

8 迷子や傷病者などの要救護者を発見した際の警察などへの通報と一時的な保護など

※市民の皆さんが行う防犯パトロールは、地域住民自らが地域ぐるみでまちの安心安全を見守っているという、犯罪者に対して大きな抑止力がありますが、警察官が行うパトロールとは違いますので、犯罪や不審者(車)を発見したとき無理をしないで、警察などへ通報しましょう。

### 防犯パトロールはいつ どんなエリアでもやるの?\*

防犯パトロールは、犯罪が多発している時間帯や場所(地域)を選定し実施するのが有効です。

(例)

※空き巣などの侵入窃盗事件が多発している地域

※幼児や小学生の通学路や公園

※ひったくりなどの街頭犯罪や空き巣などの侵入犯罪が多発している地域